

井上病院の実績（11月分）

外来患者数(平均)	救急搬入件数	手術件数		レントゲン			
		外科	整形外科	CT	MRI	MMG	ERCP
189.4人/日	41件/月	5件	17件	245件	85件	73件	0件

訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	内視鏡検査				平均在院日数	在宅復帰率
			上部	下部	EMR	ESD		
71件	333件	703件	158件	37件	13件	0件	14.9日	80.4%
							24.4日	79.5%
							21.3日	56.3%

外来診療担当表 手術等のため変更となる場合があります。詳細につきましてはお電話などでご連絡ください。

診療科目	曜日/時間帯	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
外科	消化器 肛門 外科全般	院長	永吉	永吉	永吉綱 (九大)	外科	外科	院長	大内田 (九大)	永吉	院長 井上浩	永吉/ 井上浩※3
	乳腺						院長★		院長★			院長★/ 九大★
内科	内科全般	久原 國弘 (10:00~)	國弘	増谷 高田 (非常勤) (10:30~)	國弘	高田 (非常勤) (10:30~)		高田 (非常勤) (10:30~)	久原	國弘		國弘/※4 吉峯晃
	血液腫瘍内科 内科全般					佐々木 (福大)	佐々木※2 (福大)					
	糖尿病	前田★	前田★	前田★	前田★ (~15時)		前田★	前田★	前田★			
	循環器	吉峯有★	吉峯有★	中村 (副院長)	(吉峯有) ※2	中村 (副院長)		中村 (副院長)		志賀★ (非常勤)	志賀★ (非常勤)	
	呼吸器					藤田★ (福大)						
消化器内視鏡検査	増谷★	久原★	國弘★	増谷★ 國弘★	久原★	久原★	永吉★ 増谷★		久原★	久原★	久原★/ 増谷★	
整形外科 リハビリテーション科	深水	坂本★	小牧	坂本★	深水	深水	新井		坂本 小牧		整形 ※5 (非常勤)	

★の時間帯は、予約制になっています。事前にお問い合わせください。予約受付時間：平日14時～16時

手術・学会出張等で変更となる場合がありますので、詳細につきましては受付窓口へお尋ね下さい。

※1 火曜日午後の吉峯有香医師の診療は月曜が休日の際の予備日となります。

※2 水曜日午後の佐々木医師の診療は月に1回休診になります。

※3 土曜日の外科の診療は永吉医師、井上浩医師が週替わりで担当になります。

※4 土曜日の内科診療は國弘医師が第1・2・3・5週、吉峯晃平医師が第4週の担当となります。

※5 土曜日の整形診療は医師が変更になることがあります。

※ 個人検診は火・水・木曜日の14時～16時までの受付となります。

※ 受付時間は16時までとなります。急患に関しましては、この限りではございません。※ご不明な点等ございましたら、当院外来にお問い合わせください。



いのうえ通信 Vol.117 2024.1



病院理念

みなさまの一日も早い社会復帰を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる組織作りを目指します。

診療指針(私たちの役割)

『予防・早期発見・急性期～在宅復帰までの一貫した
ケア・ターミナルケアの実現』

- 当院は、かかりつけ医機能を持った身近な急性期病院としての役割を担い、救急医療、高次医療機関との連携、在宅支援に向けての地域連携などに努め、治し支える医療を実践します。
- 当院はがん拠点病院と連携を図り、がんの診断、治療から緩和医療、在宅支援まで質の高いがん診療を提供することに努めます。
- 当院は疾病予防、早期発見に向けての健診機関としての役割を果たすことに努めます。

目次

・理事長あいさつ	2
・院内研修:介護保険について	2
・井上病院 ACPの取り組み	3
・わが家の家族紹介	3
・井上病院実績報告	4
・診療担当表	4



理事長あいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年も感染対策が大変な中、当院へ患者様のご紹介や施設の共同利用をしていただきありがとうございました。

昨年は新型コロナがようやく5類へ移行となりましたが、インフルエンザなど様々な感染症の復活で、医療界はまだまだ感染症対策に予断を許さない状況ですが、頑張っていきましょう。

国は地域包括ケアシステムを掲げて動いています。当院もできるだけトリアージ機能を発揮し当院で対応できるものは対応し、高度医療が必要な方は適切な医療機関へ紹介、また治療が終わって在宅や施設へ戻るまでにもうワンステップが必要な場合も適切な医療機関、施設へ紹介することが役割と思っています。ただ、この数年で受療行動の変化や、様々な物資の高騰により急性期病院において安定した病院経営が厳しい状況になっています。

今年はトリプル改定が行われる年です。人員確保や設備の更新等、体制整備のためには大幅なプラス改定が必要ですが、今の日本の経済状況でどのような改定が行われるかまだ不透明です。当院からも情報発信を行い、地域の連携強化を図りたいと思います。

今年も医療連携をよろしくお願いたします。



理事長 井上 健



～ 院内研修：介護保険について ～



今回は介護保険について看護師、リハビリスタッフに対して研修を行いました。介護保険サービスには、大きく分けて在宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスがあります。当院へ入院された患者様が退院する際に患者様本人、家族が望む生活に少しでも近づけるようにケアマネジャーや地域包括支援センター、訪問事業所など関係機関と連携し、退院支援を行なっています。

地域連携室 MSW 竹下

井上病院 ACPの取り組み



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことで、2018年に「人生会議」という名称で呼ばれるようになりました。

それでは、人生会議という言葉は定着してきたのでしょうか？

井上病院は患者さんの平均年齢が75歳を超えており、心不全の急性増悪などで入院される方が多く、入院時は病状の悪化で自分の意向を話したりできる状況ではありません。家族に聞いても、以前から「これからのこと」を話し合ったことはなく、「わかりません」、「お任せします」と返答される方も多くおられます。

当院では、毎月多職種で在宅移行カンファレンスを行っていますが、本人・家族の意向が明確でないことが多く、「もっと早い段階で本人の意向を確認しておくべきだった」、「家族が病状をどこまで理解されているのかわからない」などの反省が毎回上がってきます。

医療者のみで話し合っても、本人・家族の意向を置き去りにした議論にしかならず、また治療を主とする病棟側と住み慣れた場所で過ごさせてあげたいという在宅スタッフとの間で意見が分かれることもあります。皆患者・家族にとって何が一番いいのか、という視点で話し合うのですが、立場が違えば価値観や考え方も違い、しかもこれが正解だという回答はなく、やはり患者さんの意向を軸軸に考えるべきだと考えます。本人は人生の最終段階をどのように過ごしたいのか、ということです。そしてその希望を本当に叶えてあげられるのかを繰り返し家族とも話し合っていく必要があります。

最期まで穏やかに、そして自分で意思決定しながら人生を全うして頂くために、遅ればせながら井上病院ではACP推進に向けての取り組みを開始しました。人生の先輩である患者さんが、最期まで笑顔で過ごしていただけるために、外来通院時の早い段階から、意向を確認させていただき、患者・家族を支えていける体制を整えられたらと思っています。井上病院のスタッフ全員で努力していきたいと思っています。



看護部 看護部長 竹山由子

ちよつと一息

わが家の家族紹介



シヨコラ(11さい 女の子)

果物が大好きで、みかんやりんごの皮をむいているとどこからともなく猛ダッシュで走ってきます。我が家の大切な家族の一員で、いつも癒されています♪

地域連携室 Tさん

